

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



甲府市立城南中学校

養護教諭 渡邊 勇介

令和6年度採用

山梨県出身

◆学校の先生になった理由

私は大学を卒業してから10年間、地元の町役場で事務職員として勤務していました。ある年から福祉関係の部署に配属になり、地域に住む障害児やその保護者の方と接するようになりました。その経験をとおり、良い地域をつくるには、子どもが子どもらしくいきいきと過ごせる環境が不可欠だと感じるようになりました。そうした想いを抱いて仕事をしていると、自ら子どもに接し、その成長に携わることができる最前線の現場で働きたいという気持ちが強くなりました。そこで、さまざまな職業を調べる中で、自分にとって養護教諭という職が理想だと感じ、養護教諭になりました。

◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

教師は子どもとの直接的な関わりの中で、見て聞いて感じ取り、判断していかなければならない職業だと思います。それが教師という仕事の難しい点ですが、その分、話した内容が子どもに伝わったと感じる瞬間は、大きな達成感を得ることができる素晴らしい職業でもあります。一度社会人を経験した立場からすると、学校現場は、子どもとの関わりを通じて、教師でなければ得ることのできない魅力が詰まっている特別な場所であると感じます。

◆先生になって「楽しかったこと」や「感動したこと」

私の1歳の息子を見ていてもそう思いますが、子どもには不思議な魅力があり、大人になるにつれ、いつの間にか忘れていた感情を思い起こさせてくれます。日頃欠席の多い生徒が部活動の試合で見せる一生懸命な姿や体調不良で保健室に頻繁に来室す



る生徒が授業で活発に発言する姿など、学校では生徒の様々な面を見ることができます。日々の生活の中から生徒の良い面を見つけるすばらしさが得られ、その度に、勇気を出して転職して良かったと感じます。

◆学校の先生として心がけていること

教師は、生徒にとっての先生という立場だけでなく、保護者の方や地域住民の方にとっても学校の先生であるということを忘れないよう心がけています。全国的に、教師をはじめとする公務員の不祥事に対する注目が集まる中、学校内はもちろん、学校外においても一人の自立した社会人としての生活をするように意識しています。そうした日々の積み重ねの中で、周囲から頼りにされる教師になりたいと思います。

◆わたしの学校（職場）の雰囲気

先生方は皆忙しい中、生徒のことを最優先に考え、日々一生懸命働かれていると感じます。また管理職の先生方やもう一人の養護教諭

の先生も、右も左もわからない私に対し、優しく声掛けしてくださり、わからないことを丁寧に教えてください。とても恵まれた環境で仕事させていただいていると感じます。学校全体の風通しも良く、責任ある仕事だからこそ、お互いを支えあう雰囲気を感じられます。

◆先生になる前とのイメージの違い

30代半ばの男性養護教諭である自分に対し、多感な中学生は心理的な距離を置いて接してくるだろうと考えていました。しかし実際は男子も女子も気軽に話しかけてくれ、心身の不調に関する相談をしてくれるので、ありがたく思いつつ、日々来室する生徒の対応をしています。また、様々な課題を抱える生徒に対し、その生徒がより良い学校生活を送れるよう、チーム学校として対応していることも、先生になる前のイメージと違う点でした。

◆渡邊勇介先生の1日

出勤	出勤して水質検査や保健室の環境整備、部活動の朝練習や登校中の怪我の対応をします。
授業	生徒が来室したら聞き取りをしつつ、休養や早退の判断、担任や保護者との連絡を行います。来室生徒がいなければ事務仕事を進めます。休み時間には多くの生徒が来室します。
給食 昼休み	昼休みは来室が多いため、早めに給食を食べ終わり、午後の準備をします。
掃除	生徒と一緒に掃除をします。掃除中の怪我や体調不良の対応をすることもあります。
放課後	日中の来室生徒が多い日は、事務仕事が終わらないこともあるので、放課後の時間に進めます。部活動中の怪我の来室も多くあります。
退勤	部活動指導が終わった先生方と来室生徒の情報交換を行います。また、その日の来室状況を記録し、退勤します。

◆退勤後や休日の過ごし方（私のリフレッシュ法）

平日は帰宅後、1歳の息子をお風呂に入れるのが日課になっています。イヤイヤ期がはじまり、手を焼くことも多いですが、家族の存在は仕事の原動力になっています。休日は妻と息子と一緒に近所の公園に出かけたり、買い物に行ったりしてリフレッシュしています。仕事の時間と家族で過ごす時間をしっかり切り替えることが私のストレス解消法です。

◆山梨県のよさ

週末は家族で湖や森に囲まれた近所の公園に遊びに行きます。豊かな自然や落ち着いた環境は、子どもをのびのびと育てるのに最適だと感じます。また、周囲には温かく見守ってくださる方が多く、近所の方から新鮮な果物や野菜をいただくこともあり、人と人とのつながりが強いと感じます。悩みごとや困りごとを気軽に相談できる雰囲気があります。さらに都心へのアクセスも良く、何かを学んだり挑戦したりするのに、恵まれた環境であると思います。



◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

私は30代で転職して養護教諭になりました。妻と幼い子どもがいる中で転職を決断するのに何か月も悩みましたが、今は転職して良かったと心から思っています。教師は、児童・生徒から生きるエネルギーをもらい、自分自身も頑張ろうと思うことができる仕事で、このような仕事は他にはないと思っています。年齢や環境を理由に迷っている方は、興味があるならばぜひチャレンジしていただきたいです。教師になればきっと想像していた以上にやりがいを感じ、多くのものが得られると思います。